

第7回 The 7th Annual Meeting of  
Japanese Society of Ophthalmic Plastic and Reconstructive Surgery

# 日本眼形成再建外科学会 学術集会

プログラム・抄録集

お台場で熱く眼形成を語ろう!



会期 2019年5月18日(土)・19日(日)

会場 がん研究会吉田富三記念講堂

会長 辻 英貴

がん研究会 有明病院 眼科



第7回 The 7th Annual Meeting of  
Japanese Society of Ophthalmic Plastic and Reconstructive Surgery

# 日本眼形成再建外科学会 学術集会

プログラム・抄録集

## お台場で熱く眼形成を語ろう!

会期 2019年 **5月18日**土・**19日**日

会場 **がん研究会吉田富三記念講堂**

会長 **辻 英貴**  
がん研究会 有明病院 眼科



第7回 日本眼形成再建外科学会学術集会 運営事務局

株式会社 **プロコムインターナショナル**

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

TEL: 03-5520-8821 FAX: 03-5520-8820

E-mail: jsoprs7@procomu.jp



## 第7回日本眼形成再建外科学会学術集会

# ご 挨拶

第7回日本眼形成再建外科学会学術集会

会 長 辻 英 貴 がん研究会有明病院 眼科

この度、東京お台場の東に位置します、がん研究会有明病院の吉田富三記念講堂（東京都江東区 一臨海副都心一）にて第7回 日本眼形成再建外科学会学術集会を2019年5月18日（土）、19日（日）に開催させて頂くこととなりました。理事、学会員、および関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

今回のテーマは「お台場で熱く眼形成を語ろう！」です。一般演題では、インドネシアからの3演題を含めた28演題ものご応募を頂きました。またシンポジウムとして、Ⅰ. 眼部腫瘍切除後の再建、Ⅱ. 抗がん剤と涙道の問題集 ～傾向と対策～、Ⅲ. オールアバウト眼瞼下垂 ～治療を中心に自分の思うところを何でもどうぞ～、を予定しており、バラエティーに富んだ、深い内容のものになると確信しております。

今回は、会場ホールのドアはすべて開放し、ホワイエなどの会場外においても座って視聴でき、飛び入り討論可能にしますので、演者・シンポジストとフロア間の活発な質問、議論を期待しております。陽が傾いてきてからは、シンポジウムの語源である「饗宴」に準じて、お酒を片手に討論できる環境も整えて参ります。

会場周辺には、東京都の新しいマーケットとしての豊洲市場、また2020年の東京オリンピック・パラリンピックでのバレーボール、テニス、体操など7つの会場を有し、日々発展しているエリアです。JSOPRS 学会および学術集会是年々発展の一途をたどっているところですが、皆様のお力をお借りし、さらなる高みへと前進し続けねばなりません。

本会が皆様の眼部形成、眼部再建への確実な知識および技術の向上を得られる有意義な会となることを願い、開催の言とさせて頂きます。

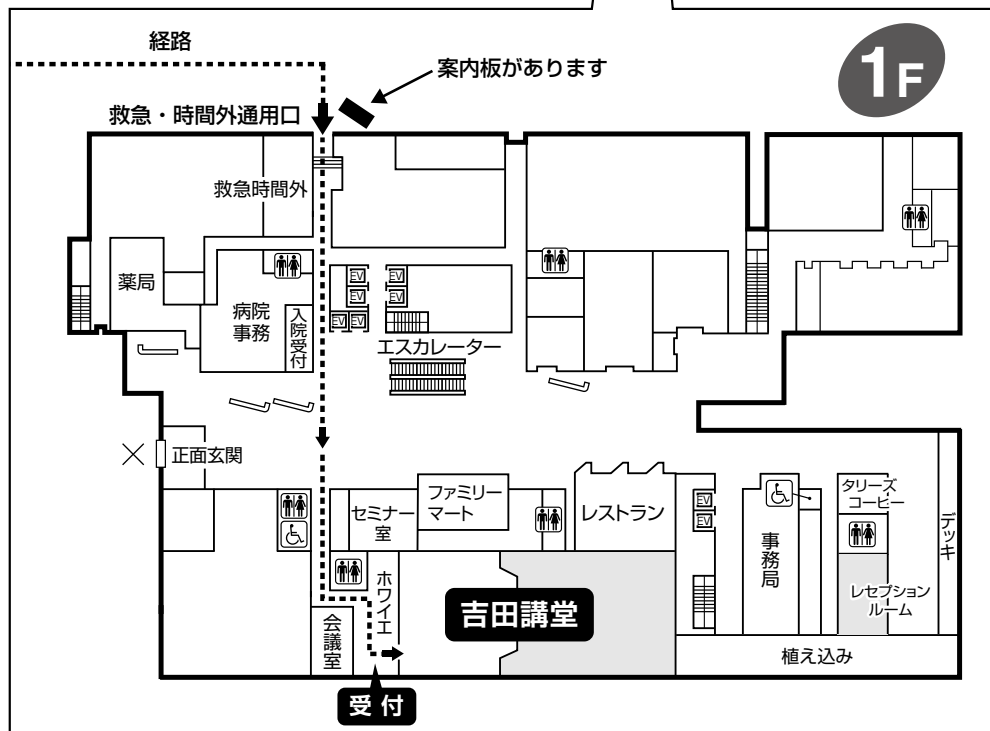
# 学会会場までの交通のご案内／会場図



- りんかい線でお越しの場合…国際展示場駅から徒歩4分
- ゆりかもめでお越しの場合…有明駅から徒歩2分

## 拡大図

- 土日は正面玄関が閉まっていますので、「救急・時間外通用口」から病院内へ入り、直進して院内を横切り、吉田講堂へお越しください。



# 参加者へのご案内

## 1. 参加受付

受付場所：がん研究会吉田富三記念講堂 ホワイエ

受付時間：5月18日(土) 9:00～18:00(開場 9:15)  
5月19日(日) 8:00～12:00

## 2. 受付方法

### (1) 事前参加登録

「事前参加登録受付」にて、ネームカードと抄録集をお渡しいたします。

### (2) 当日参加登録

「当日参加登録受付」にて、登録手続きを行ってください。

### (3) 眼科専門医制度単位受付(日本眼科学会専門医制度認定事業 No.25178)

受付時間内に日本眼科学会専門医制度登録証(カード)をご持参ください。

〈取得可能単位〉5月18日(土)：3単位

5月19日(日)：2単位

## 3. 参加費

種 別	事 前	当 日
会員の医師	8,000円	10,000円
非会員の医師	10,000円	12,000円
医療機関の非医師職員・後期研修医	4,000円	5,000円
学生・前期研修医	無料(学生証・ID提示)	無料(学生証・ID提示)
懇親会費(会員・非会員共通)	6,000円	7,000円
懇親会費(学生・前期研修医)	2,000円	2,000円

## 4. 各種サービスのご案内

(1) クローク …… 会場内に設置しております。貴重品やコンピューターのお預かりはできません。  
また、紛失や破損の責任は負いかねますので、ご了承ください。

(2) 無線 LAN …… 設定はございません。

(3) 呼び出し …… 緊急の場合を除いては一切行いません。参加者間の連絡は個別に行ってください。  
すようお願い致します。

(4) 駐 車 場 …… 駐車場は地下などにもありますが、患者様及びご家族優先になっているため、  
公共交通機関をご利用ください。なお、会場近くにコインパーキングはございます。

(5) コンビニエンスストア …… 1階「ファミリーマート」がございます。営業時間は7時～21時  
(年中無休)となっております。

## 5. 企業展示

日 時：5月18日(土) 9:30～18:00

5月19日(日) 8:30～12:00

場 所：がん研究会吉田富三記念講堂 ホワイエ

## 6. 託児室

ご用意はありません。

## 7. 禁止事項

- (1) カメラ、ビデオ、携帯電話などによるポスター撮影・講演音声の録音・録画。
- (2) 講演会場内での携帯電話による通話(会場内ではマナーモードに設定)。
- (3) 会場内への飲食の持ち込み(ペットボトルや水筒等の蓋付き飲料は可)。
- (4) ホールを含む館内、病院敷地内は全面禁煙となります。喫煙所は会場案内図にございます。

# 座長・演者へのご案内

## 座長へのご案内

- (1) 担当セッション10分前までに、会場内右手最前列の次座長席へお越しください。
- (2) 時間厳守での進行にご協力いただきますよう、お願いいたします。

## 演者へのご案内

- (1) すべての口演はデジタル(PC)プレゼンテーションに限ります。スライドやビデオは使用できませんのでご注意ください。
- (2) スライド枚数に制限はありませんが、発表時間内に終了するようにご配慮ください。
- (3) Windowsにて発表データを作成された場合は、USBメモリにてご提出いただくか、ノートPCをご持参ください。
- (4) Macintoshをご使用の際は、必ずご自身のPCとコネクタをお持ちください。
- (5) 発表予定時刻の30分前までにPCセンターにて発表データの試写確認、ならびにご提出をお願いします。ご自身のPCをご持参の際は、試写確認後に発表会場内のPCオペレーションデスクにてPCをお預かりいたします。

※18日(土)最初のセッションの先生は、開始45分前までにPCセンターまでお越しください。19日(日)最初のセッションの先生は、前日までにPCセンターにて手続きを完了してください。

## (6) PCセンターの開設時間

日 時：5月18日(土) 9:00～18:00  
5月19日(日) 8:00～12:00

## (7) 発表データ作成方法は以下の通りです。

### ○発表データを持ち込まれる方(Windowsのみ)

- 1：会場でご用意するPCのOSはWindows10です。
- 2：Microsoft Power Point 2013/2016で作成し、Windowsの標準フォントをご使用ください。  
【日本語】MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝  
【英語】Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・Courier New・Georgic
- 3：アニメーション・動画は使用可能ですが、Windows10(OS)及びWindows Media Player11の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。動画ファイルはWMV・MP4形式を推奨します。
- 4：音声もご使用いただけます。
- 5：ファイルサイズは動画ファイルを含め700MB以内とします。
- 6：発表に使用するPCの解像度はXGA(1,024×768)に統一しますので、ご使用のPCの解像度をXGAに合わせてからレイアウトをご確認ください。
- 7：発表データは作成されたPC以外の別のコンピューターにて動作をご確認ください。
- 8：メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスチェックソフトでスキャンを行ってください。
- 9：データのファイル名は、演題番号(半角)と発表者の氏名(漢字)を必ずつけてください。
- 10：お預かりしたデータは、総会終了後に事務局で責任をもって消去いたします。



## ○PCをご持参いただく方

- 1: 利用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、外部出力の接続は、D-sub15pinによるモニター出力に限ります。一部のノートパソコンでは本体付属のコネクタが必要な場合がございますので、必ず各自でご用意ください。
- 2: 動画・音声も使用可能ですが、PCセンターにて必ず動作確認を行ってください。
- 3: 画面の解像度はXGA(1,024×768)に統一しますので、ご使用のPCの解像度をXGAに合わせてからレイアウトをご確認ください。
- 4: スクリーンセーバー、省電力設定、ウイルスチェックならびに起動時のパスワードは予め解除しておいてください。
- 5: 電源ケーブルを必ずご持参ください。
- 6: 予備のバックアップデータをお持ちいただくことを推奨いたします。
- 7: 発表終了後は会場内前方のPCオペレーションデスクにてPCをご返却いたします。

## (8) 発表時間

セッションにより異なりますので、事務局からのご案内をご参照ください。

## 1. 発表時における利益相反(COI)の開示

- 1: すべての発表に関し、口演時の2枚目のスライドに利益相反公表基準の有無を必ず記載してください。
- 2: 演者全員が公表の対象に該当しない場合、「利益相反公表基準に該当なし」と記載してください。
- 3: 該当有の場合、カテゴリーとクラスの表示は著者の判断に一任します。

## 2. 発表について

- 1: 筆頭演者は本学会会員である必要があります。但し、外国籍の参加者、共同演者に関してはこの限りではありません。
- 2: 一般演題の発表時間は発表7分、質疑4分とします。特別講演、シンポジウムは指定された時間で講演・質疑をお願いいたします。
- 3: 発表は、ご自身で演台上的キーボード、マウスを操作して行ってください。PC本体は演台上にはありません。

## 3. 質問者の方へ

- 1: 通路に設置してあるマイクのところにお立ちください。他の質問者がいる場合は順番でお願いし、お並びください。
- 2: セッションの進行状況により、質疑時間がキャンセルされる場合があることをご了承ください。

## 4. スライド作成における注意事項

- 1: スライドは参加者が容易に理解できるよう眼科学の知識に基づいて作成してください。
- 2: スライド2枚目に利益相反事項を入れてください。
- 3: 字詰まりスライドは避けてください。字詰まりスライドは、低視力者はもちろん、正常視力者にとっても判読が大変困難です(Angular Vision と Cortical Vision との関係への配慮)。
- 4: スライドに掲載されている内容を把握するのに十分な提示時間を確保できるスライド枚数としてください。
- 5: 使用する色の数ならびに混合色へ配慮してください。
  - 一枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるもの(ブルーまたは黒の背景に白色または黄色文字など)にしてください。
  - 混同色として識別が難しい配色は、同一スライド内で使用しないようにしてください。  
例: 赤-緑、オレンジ-黄-緑、緑-茶、青-紫、ピンク-白-灰、赤-黒、ピンク-明るい青

# 日本眼形成再建外科学会役員・名誉会員・賛助会員一覧

理事長：柿崎 裕彦（愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 教授）

副理事長：鈴木 茂伸（国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科長）  
野田 実香（慶應義塾大学病院 眼科）

常任理事：後藤 浩（東京医科大学臨床医学系眼科学分野 教授）  
敷島 敬悟（東京慈恵会医科大学眼科学講座 教授）

理事：安積 淳（神戸海星病院 眼科部長）  
大島 浩一（国立病院機構岡山医療センター 眼科医長）  
鈴木 亨（鈴木眼科クリニック 院長）  
高比良 雅之（金沢大学医学部眼科学講座 講師）  
辻 英貴（がん研究会有明病院 眼科 部長）  
根本 裕次（日本医科大学 眼科）  
三戸 秀哲（井出眼科病院 医長）  
武蔵 国弘（むさしドリーム眼科）

顧問：中村 泰久（愛知医科大学 客員教授）  
八子 恵子（北福島医療センター）

名誉会員：稲富 誠（昭和大学 名誉教授）  
久保田 伸枝（帝京大学医学部 名誉教授）  
田邊 吉彦（タナベ眼科）  
中川 喬（医大前中川眼科 院長・札幌医科大学 名誉教授）  
久富 潮（久富眼科）  
丸尾 敏夫（帝京大学医学部 名誉教授）

賛助会員：株式会社アツザワプロテーゼ／株式会社 ellman-Japan  
株式会社カジヤマプロテーゼ／株式会社河野製作所  
参天製薬株式会社／千寿製薬株式会社  
帝人メディカルテクノロジー株式会社／日東メディック株式会社  
株式会社ニデック／日本アルコン株式会社  
株式会社日本義眼研究所／ノバルティスファーマ株式会社  
株式会社はんだや／ファイバーテック株式会社／株式会社マスタ  
株式会社リイツメディカル／株式会社ルックメディカル

※氏名・企業名：五十音順

# 日 程 表

**1日目 5月18日(土)** がん研究会 吉田富三記念講堂

**2日目 5月19日(日)** がん研究会 吉田富三記念講堂

10:00	9:55～10:00 <b>開会式</b>
	10:00～11:10 <b>一般口演 A A-1～A-6</b> [腫瘍] 座長：柿崎 裕彦(愛知医科大学) 後藤 浩(東京医科大学)
11:00	11:10～12:30 <b>一般口演 B B-1～B-7</b> [眼瞼] 座長：野田 実香(慶應義塾大学) 矢野 智之(がん研究会有明病院)
12:00	12:30～13:25 <b>一般口演 C C-1～C-5</b> [眼球・結膜・眼窩] 座長：恩田 秀寿(昭和大学) 敷島 敬悟(東京慈恵会医科大学)
13:00	13:25～14:25 <b>ランチ休憩</b>
14:00	14:25～15:45 <b>シンポジウム1</b> [眼部腫瘍切除後の再建] 座長：大島 浩一(岡山医療センター) 鈴木 茂伸(国立がん研究センター中央病院)
15:00	15:45～16:00 <b>休憩</b>
16:00	16:00～17:20 <b>シンポジウム2</b> [抗がん剤と涙道の問題集～傾向と対策～] 座長：鎌尾 知行(愛媛大学) 鈴木 亨(鈴木眼科クリニック)
17:00	17:20～18:15 <b>一般口演 D D-1～D-5</b> [眼瞼下垂] 座長：根本 裕次(日本医科大学) 安積 淳(神戸海星病院)
18:00	18:20～21:00 <b>懇親会</b> 会場：吉田富三記念講堂 ホワイエ

9:00	9:00～9:55 <b>一般口演 E E-1～E-5</b> [涙道・生体評価] 座長：中川 雅裕(静岡県立静岡がんセンター) 松村 望(神奈川県立こども医療センター)
10:00	9:55～11:15 <b>シンポジウム3</b> [オールアバウト眼瞼下垂～治療を中心に自分の思うところを何でもどうぞ～] 座長：高比良 雅之(金沢大学)・三戸 秀哲(井出眼科病院) シンポジスト： 大場 美津子(眼瞼下垂の会)・高橋 靖弘(愛知医科大学) 清水 雄介(琉球大学)・村上 正洋(日本医科大学)
11:00	11:20～12:00 <b>一般公開講座</b> <b>落語「船徳」</b> 立川談慶師匠
12:00	12:00～12:10 <b>次期会長挨拶、閉会式</b>

シンポジスト：  
加瀬 論(北海道大学)  
柿崎 裕彦(愛知医科大学)  
安積 淳(神戸海星病院)  
渡辺 彰英(京都府立医科大学)

シンポジスト：  
柏木 広哉(静岡県立静岡がんセンター)  
大友 一義(JCHO 東京新宿メディカルセンター)  
高木 健一(小倉医療センター/九州大学)  
佐々木 次壽(佐々木眼科/金沢大学)

# プログラム

第1日目 2019年5月18日(土)

会場：がん研究会吉田富三記念講堂(がん研究会有明病院敷地内)

開会式 9:55～10:00

---

一般口演 A 10:00～11:10

---

[ 腫瘍 ]

座長：柿崎 裕彦(愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科)  
後藤 浩(東京医科大学 臨床医学系眼科学分野)

**A-1** 主涙腺に隣接した原発性脂腺癌の1例

矢野 風 日本医科大学付属病院 眼科

**A-2** 副鼻腔炎と眼内への炎症波及を伴ったIgG4関連眼疾患の一例

藤本 雅大 京都大学医学部附属病院 眼科

**A-3** 左下眼窩腫瘍および左顔面神経麻痺を初期病変とした小児急性リンパ性白血病の一例

高木 麻衣 大阪医科大学 眼科

**A-4** 外眼筋を外すことで全摘できた悪性リンパ腫の1例

横山 康太 昭和大学医学部 眼科学講座

**A-5** Challenging Case Series: Reconstruction of Large Eyelid Defect After Tumor Removal

Rinaldi Dahlan Cicendo Eye Hospital/ Padjadjaran University, Indonesia

**A-6** Management of Ocular Surface Squamous Neoplasia: Sharing Cases

Angga Kartiwa Cicendo Eye Hospital/ Universitas Padjadjaran, Indonesia

一般口演 B 11:10～12:30

---

[ 眼瞼 ]

座長：野田 実香(慶應義塾大学医学部 眼科学教室)  
矢野 智之(がん研究会有明病院 形成外科)

**B-1** Management Bilateral Ectropion in Lamellar Ichthyosis

Raja Erinda Ophthalmology Departement, Medical Faculty, Diponegoro University,  
Kariadi Hospital, Semarang, Indonesia

**B-2** 上眼瞼後転術を行った3症例の検討

吉村 彩野 地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター 眼科

**B-3** 上眼瞼内反症に対する術式の選択

星野 彰宏 飯田市立病院 眼科

**B-4** Epicanthal fold を合併する睫毛内反症に対する Hotz 変法を併用した内眦靭帯形成術

三村 真士 大阪医科大学 眼科

**B-5** 退行性下眼瞼内反症における眼瞼位置の体位変化

北口 善之 大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経感覚器外科学講座

## B-6 睫毛内反の手術症例の検討

高比良 雅之 金沢大学 医薬保健研究域医学系 眼科学

## B-7 腫瘍切除後の下眼瞼広範囲全層欠損に対する再建アプローチ

矢野 智之 がん研究会 有明病院 形成外科

## 一般口演 C 12:30～13:25

### [ 眼球・結膜・眼窩 ]

座長：恩田 秀寿 (昭和大学医学部 眼科学講座)

敷島 敬悟 (東京慈恵会医科大学 眼科学講座)

### C-1 MIRAgel<sup>®</sup> 摘出時の強膜穿孔に対し人工硬膜による被覆が有効であった1例

杉野 迪子 九州大学病院 眼科

### C-2 結膜下浸潤麻酔による瞼裂高への影響について：エピネフリン添加と無添加の比較検討

中村 仁紀 東京慈恵会医科大学 眼科学講座

### C-3 開頭下に核出術を行った眼窩先端部神経鞘腫の1例

上田 幸典 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科

### C-4 最近3年間の眼窩下壁骨折整復術および 上顎洞バルーン挿入術を施行した症例における治療成績

塚越 美奈 昭和大学 医学部 眼科学講座

### C-5 鼻内視鏡手術による医原性両側内直筋断裂の1例

今川 幸宏 大阪回生病院 眼科

## ランチ休憩 13:25～14:25

## シンポジウム1 14:25～15:45

座長：大島 浩一 (岡山医療センター 眼科)

鈴木 茂伸 (国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科)

### [ 眼部腫瘍切除後の再建 ]

#### S1-1 結膜腫瘍

加瀬 論 北海道大学 眼科

#### S1-2 眼瞼腫瘍

柿崎 裕彦 愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科

#### S1-3 眼窩腫瘍

安積 淳 神戸海星病院 眼科

#### S1-4 涙道腫瘍

渡辺 彰英 京都府立医科大学 眼科

休憩 15:45～16:00

---

シンポジウム2 16:00～17:20

---

座長：鎌尾 知行(愛媛大学 眼科)  
鈴木 亨(鈴木眼科クリニック)

[ 抗がん剤と涙道の問題集 ～傾向と対策～ ]

- S2-1** 総論 これまでの12年間の経緯も含めて  
柏木 広哉 静岡県立静岡がんセンター 眼科
- S2-2** 抗がん剤に関連した涙道閉塞に対する治療戦略  
大友 一義 JCHO 東京新宿メディカルセンター 眼科
- S2-3** 総合病院眼科における抗がん剤関連涙道閉塞の現状  
高木 健一 小倉医療センター 眼科/九州大学 眼科
- S2-4** 抗がん剤関連涙道閉塞に対するデイスージャリー  
佐々木 次壽 佐々木眼科/金沢大学医学部 眼科

一般口演 D 17:20～18:15

---

[ 眼瞼下垂 ]

座長：根本 裕次(日本医科大学 眼科)  
安積 淳(神戸海星病院 眼科)

- D-1** 眼瞼下垂に対する経結膜的通糸による Müller 筋、挙筋腱膜短縮術の改良について  
小笠原 孝祐 小笠原眼科クリニック
- D-2** 開瞼にて複視のある眼瞼下垂に対して前頭筋吊り上げ術を施行した4例  
野田 実香 慶應義塾大学医学部 眼科学教室
- D-3** 眼瞼下垂手術における術中出血量測定  
馬渡 祐記 井後眼科
- D-4** 眼瞼下垂における術前開瞼シミュレーションと術後結果の相違及び影響因子の検討  
鄭 暁東 愛媛大学 眼科
- D-5** 2% リドカインを用いたテノン嚢下麻酔に起因した眼瞼下垂症の検討  
滝 功一郎 大阪医科大学附属病院 眼科学教室

懇親会 18:20～21:00

---

吉田富三記念講堂 ホワイエ

## 第2日目 2019年5月19日(日)

会場：がん研究会吉田富三記念講堂(がん研究会有明病院敷地内)

### 一般口演 E 9:00～9:55

#### [ 涙道・生体評価 ]

座長：中川 雅裕(静岡県立静岡がんセンター 再建・形成外科)  
松村 望(神奈川県立こども医療センター 眼科)

#### E-1 小児の涙道疾患における鼻涙管骨性閉塞の頻度と臨床的特徴

松村 望 神奈川県立こども医療センター 眼科

#### E-2 Post-levator aponeurosis fat pad とフェニレフリン点眼テストの関連についての検討

松田 弘道 東京慈恵会医科大学・第三病院 眼科

#### E-3 エスターマン両眼開放視野検査による眼瞼下垂術前後の視野評価の試み

山田 寛子 愛媛大学附属病院 眼科

#### E-4 前眼部光干渉断層計を用いた下眼瞼牽引筋群および眼窩脂肪のイメージング

安藤 誠 大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経感覚器外科学講座

#### E-5 涙点腫瘍による続発性涙道閉塞の有無に関する検討

河野 伸二郎 福井厚生病院 眼科

### シンポジウム3 9:55～11:15

座長：高比良 雅之(金沢大学病院 眼科)  
三戸 秀哲(井出眼科病院)

#### [ オールアバウト眼瞼下垂 ～治療を中心に自分の思うところを何でもどうぞ～ ]

#### S3-1 患者・家族・NPO 法人としての、眼瞼下垂との関わり

大場 美津子 眼瞼下垂の会 代表理事

#### S3-2 眼瞼下垂症 ～眼科的見地から～

高橋 靖弘 愛知医科大学 眼形成・眼窩・涙道外科

#### S3-3 私の考える眼瞼下垂手術の要点 ～整容面を中心に

清水 雄介 琉球大学 形成外科

#### S3-4 眼瞼形成手術教育 ～眼科医 VS 形成外科医～

村上 正洋 日本医科大学武蔵小杉病院 眼科眼形成外科

**一般公開講座** 11:20～12:00

---

**落語 「船徳」**

立川 談慶 師匠

**次期会長挨拶、閉会式** 12:00～12:10

---

次期 JSOPRS 学術集会長：鄭 曉東（愛媛大学 眼科）





一 般 口 演  
抄 録

## A-1 主涙腺に隣接した原発性脂腺癌の1例

○矢野 風(やの かせ)<sup>1)</sup>、國重 智之<sup>1)</sup>、  
根本 裕次<sup>1)</sup>、呉 壮香<sup>2)</sup>、和田 龍一<sup>2)</sup>、  
高橋 浩<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学付属病院 眼科

2) 日本医科大学付属病院 病理診断

**【目的】** 眼窩に脂腺癌が発症した報告は少ない。今回、我々は涙腺に隣接した眼窩腫瘍を経験し、病理組織学的に脂腺癌が考えられた。報告し、諸先生方のご助言を仰ぎたい。

**【症例】** 58歳男性。2, 3週間前からの左眼眼瞼下垂を主訴に近医受診、上眼瞼奥に腫瘤を触知、精査加療目的に当院紹介となった。視力両(1.2)、眼圧正常、上眼瞼と腫瘤との可動性は良好であった。眼位は内下斜視、Hess 赤緑試験では左眼外転・上転障害を認めた。前眼部、中間透光体、眼底に異常を認めなかった。血液腫瘍マーカーおよびIgG-4は正常範囲内であった。眼窩造影MRIにて、左主涙腺上部から眼窩上外側に、不均一に造影される径26mmほどの結節を認めた。側方法にて、被膜を有する腫瘍を鈍的に剥離し、摘出した。病理組織では、HE染色にて類円形核をもつ小円型細胞が被膜内外に増生し、脈管内への浸潤像もみられた。Adipophilinおよびandrogen receptor免疫染色陽性であり、脂腺癌を最も考える所見であった。術後の眼窩MRIでは腫瘍の残存は認めなかったが、病理組織の結果から、現在、全身検索を施行中である。

**【結論】** 以上の症例につき、術前診断、治療法および今後の方針などにつき、ご助言をよろしく願います。

## A-2 副鼻腔炎と眼内への炎症波及を伴ったIgG4関連眼疾患の一例

○藤本 雅大(ふじもと まさひろ)、高橋 綾子、  
須田 謙史、大石 明生、辻川 明孝

京都大学医学部附属病院 眼科

**【緒言】** 非典型的なIgG4関連眼疾患の一例を経験したので報告する。

**【症例】** 76歳女性。網膜色素変性のため当科通院中であり、矯正視力右眼0.7、左眼光覚弁であった。数日前から徐々に増悪する右上眼瞼腫脹と圧痛、右視力低下を訴え当科受診。右眼球運動障害、右結膜毛様充血も認め、右視力は手動弁であった。MRI検査では、右上顎洞から前額洞に及ぶ副鼻腔炎を認め、また眼球後部と視神経周囲に沿って強く造影効果を認めた。著明な視力低下への緊急対応として耳鼻科にて右内視鏡下副鼻腔手術、視神経管開放術を行った。術後右眼黄斑部と耳上側の周辺部に滲出性網膜剥離を認めたが徐々に軽快し、右視力と眼瞼腫脹も改善した。しかし術1ヶ月後に再燃し、右眼瞼腫脹と網膜剥離の増悪を認めた。造影CT検査で、涙腺の腫脹は軽度なものの造影効果を認めたため、涙腺生検を施行した。病理組織学的に有意なIgG4陽性形質細胞浸潤を認め、また血清IgG4値の上昇もあり、IgG4関連眼疾患との診断に至った。ステロイド投与により、自覚症状、他覚所見ともに改善傾向である。

**【結論】** 眼窩蜂窩織炎との鑑別が困難なIgG4関連眼疾患の一例を経験した。炎症が眼内へと波及し滲出性網膜剥離が生じた点でも非典型的であった。



第7回日本眼形成再建外科学会  
プログラム・抄録集

---

会 長：辻 英貴

事 務 局：がん研究会有明病院 眼科  
〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31  
TEL：03-3520-0111 FAX：03-3570-0343  
E-mail：jsoprs7@jfer.or.jp

運営事務局：株式会社プロコムインターナショナル  
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFT ビル東館9階  
TEL：03-5520-882 FAX：03-5520-8820  
E-mail:jsoprs7@procomu.jp

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>